

ALLwatch Tips

2011年10月号
オムロンソフトウェア株式会社

「ALLwatch」は弊社が提供するモニタサービスの総称です。

停電通報用バッテリーについてのQ&A

オムロン製の通報装置に搭載している停電時の通報用電池について、お尋ねの多い内容をQ&A形式で以下に示します。

本体の購入と同時に予備電池を購入したいのだが？

- 本体では常時充電しているため電池寿命が長いのですが、予備電池を購入し常温で保管すると交換する頃には予備電池が放電してしまい使用できなくなる恐れがあります。

電池の寿命は？

- 電池は化学変化を利用していますので周囲温度により寿命が変化します、温度が低くなると起電力が低くなり、温度が高くなると寿命が短くなります。メーカーの指示している寿命の温度は $22^{\circ}\text{C}\pm 2^{\circ}\text{C}$ です。弊社で把握している寿命は東京都心で4年～5年は使用出来ています。

取付けて停電テストをしたが停電通報が来なかった。何故か？

- 本体を取り付けて電源を投入、すぐ停電テストをすると送信時に電池電圧が低下してメールを送信できないことがあります。停電テストをする時は電源投入後10分ほど待ってから行ってください。
- バックアップの電池は流通過程で自己放電のため電圧が低下している事があります、電源を投入するとしばらくは急速充電モードで充電しますのでこの時間待ってからテストをしていただくとこの現象は解消します。

電池の種類は？

- ニッケル水素電池 1.2V×3=3.6V/1900mAhが定格です。

充電はどうするのか？

- 設置して電源を入れると自動で充電を開始します。常時繰り返し充電を行うトリクル充電を行っています。

バッテリーのチェックの方法は？

- 電池の赤線と黒線に 8Ω 付近の抵抗を接続し30秒後の電池電圧が3.8V以上あれば使用できます。抵抗を取り付けずに電圧測定しても電池の状態は判りませんので注意して下さい。

近日中に自動で毎月1回電池のテストを行い状況通知するサービスを開始する予定です。詳しくは弊社営業にお問い合わせください。

この案内に関するお問い合わせは、下記のフリーダイヤルにて承っております。



0120-053-606 (土・日・祝日を除く 9:30~17:30 (12:15~13:00を除く))